



京都市会議員 江村りさ

江村りさの 七転び八起き プロフィール

1985年生。嵯峨野保育園、嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校卒業。高校受験にて当時のバス停方式により第一志望が叶わず。心が折れそうになるも、そこから行政の政策に関心を持ち、同志社大学政策学部入学。東京で就職するも京都市政に関わる夢を諦められず25歳で出馬。人前で話すことの難しさにぶつかり四苦八苦の活動ながらも人に恵まれ当選。議員として高校受験制度をはじめ、ムダの削減などに全力で取り組む。3期目に不妊治療や流産を乗り越え、念願の第一子出産。現在、人生初の仕事と子育ての両立に奮闘中。京都党代表も務める。

財政は市民負担増で解決? 市長選挙で決まる与野党の立場でなく 政策で門川市政を判断!

京都市では長らく、市長選挙で門川氏を応援した政党を与党、それ以外を野党として、与党は基本的になんでも賛成するためあらゆる議案が賛成多数で可決される事態が続いてまいりました。そのため議会のチェック機能が弱く、他都市では力を入れられてきた財政再建も希薄なまま今日の状況を迎えていました。京都党は市長選挙で決まる与野党の立場でなく門川市政を政策で判断します。

一部の市民の利害によって動かされる行政にせず、政治の世界の慣例に縛られず、京都のことを最優先で考えます。それが、この先の未来に長く京都市民が安心して、自由に自己実現を目指すことができる街の姿になると見据えています。



YouTube
「江村りさチャンネル」

\Follow Me/

宗教団体・業界や組合から支援をいただかない! 忖度なし、しがらみフリーで活動する唯一の政党

地域政党京都党は、結党当初より特定の団体・組合からご支援をいただかない選挙をお約束しています。無論、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)から支援、献金等を受けたことは一切ありません。私たちは市民の皆様に草の根の支援を広げていただくことで、議会でも特定の団体の意向や利害に左右されることなく、

市民の皆様の思いに真正面から向き合える政治活動及び議会活動に専念できると考えております。政策で選んでいただける選挙を目指すことはもちろん、議会本来のチェック機能を最大限に活かし、市民の皆様にとってより公正で納得感のある政治に近づけるべく志を持って取り組んでまいります。

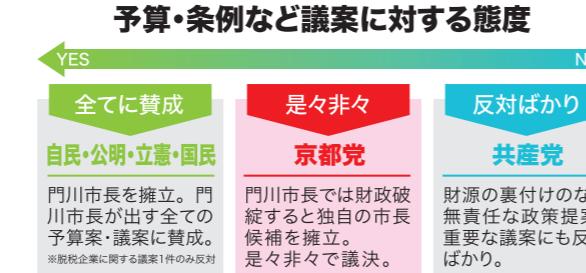
地域の身近なご相談にも日々奮闘

新型コロナ対策や市の各種補助金をはじめとした市政全般のご相談はもちろんのこと、街路樹や道路標識、騒音、鳥獣被害など身近な暮らしのことにつるまで今期4年間もたくさんのご相談をいただいております。貴重なご意見が議会活動に繋がっております。今後も皆様と共に良い暮らしのために奮闘します。

現地に足を運んでいます!
右京区をより良く!



水路の底面のコンクリートが剥がれ、雑草とタニシで周辺に悪臭が漂っていたことから、コンクリートの改修を行政に要望し実現しました!



京都市会議員 江村りさ事務所

〒616-8101 京都市右京区太秦和泉式部町13-2 大村ビルB
E-mail emurar@nifty.com http://www.emurarisa.jp/

●後援会瓦版42号拡大版 ●発行日／令和5年2月23日 ●編集・発行／江村りさ事務所

TEL 075-354-6225
FAX 075-384-0202

江村りさ事務所 |

江村りさ公式HP



コロナ禍でついに露呈した

京都の財政危機

私たち10年以上前から、収入を上回る支出を見直すこと、市債返済のための積立（公債償還基金）の取崩しは直ちにやめることを再三指摘してきました。

市民や事業者がコロナで苦しんでいる折に機動的な財政出動ができなかつたのは、まさに財政難によるものであり痛恨の極みです。また、その当時には誰もが想像しえなかつた「人口減少問題」について、結党当時から「人口減少はこれからの都市課題」とあると警鐘を鳴らし生産人口増加策として教育の底上げや市民所得の向上策を提案してきました。門川市長の「このままだと財政は破綻しかねない」という発言以降、京都党のこれまでの主張を支持・評価してくださる方が急増しました。

令和5年は単年度で一時的に均衡を保ついますが、将来負担比率は北海道夕張市に次いで高く、未だ厳しい状況です。財政危機に対し、門川市長は「財政破綻しません」と仰っていますが、まったく安心できる状態ではありません。

財政の收支均衡と健全な積立てを現在の地方財政の制度では、税収不足は国が補うルールになつておりますが、本来お金が足りないという事態には陥りません。つまり、京都市の財政悪化の根本原因は「使い過ぎによる收支不均衡」です。まず、財政出動のルールを厳格化させ、それに基づいて支出し、その上で、限られた予算の中で最大限の効果が

出せる行政サービスへの改革が必要です。議員報酬削減・議員定数削減などの議会改革を筆頭に、事業のムダの徹底的見直しはもちろん、予算の7分の1を占める職員人件費の見直し、ブラックボックス化しつつある外郭団体の整理・統廃合、生活保護の不正受給の撲滅、入札制度の見直しなど既存の事業をゼロベースで見直します。

今後莫大な費用が見込まれる公有財産の改修、維持管理に備えるため、民間資金によってそれが達成されるPFIやネーミングライツ、施設を持たず民間のテナントを利用する公有財産の非所有手法なども積極的に活用して参ります。

重点項目

- 議員報酬30%カット・議員定数10%削減
- 人事制度改革による人件費の抑制
- 成果連動型民間委託の積極活用
- PFIを含む資産の非所有手法の活用
- 保有資産の再点検（契約の見直し、売却等）
- 郷團体の整理・統廃合
- 不正受給の徹底追及
- 公平公正な入札制度改革
- 納税義務者数を政令市平均水準へ
- 広告・スポンサー収入の強化

令和版交通インフラの整備

京都の交通インフラは中心部においては市バスを中心に充実していますが、郊外へ行くほど「自家用車がなくては生活できない」という環境におかれています。近年MaaSをはじめとする新たなテクノロジーや自動運転バスなどの導入によって、交通環境は劇的な進化を遂げています。

私たちは最先端技術の活用も視野に入れ、交通不便地域の解消を目指します。

重点項目

- MaaSで車より公共交通が便利！
月々定額でバスも鉄道もレンタサイクルも乗り放題
- 山間地域からターミナル駅への
自動運転バスの導入によるダイヤ増
- 大原野・洛西ニュータウンから阪急洛西口駅や
JR桂駅を繋ぐBRTの検討



京都の活性化に向けて 働く人も場所も増えて所得アップ

京都には年間多くの大学生がやってきますが、卒業と同時に京都を去ってしまいます。ポテンシャルは十分にあるものの、若者が働く場所に求めるニーズを受け止め切れていませんでした。京都の強みである観光・文化の底上げのためにも大手観光企業の本社誘致をはじめ時差の少ないアジア企業に拠点を提供するなど、持ちうる知恵を総動員する必要があります。

また、地下鉄東西線沿線については大胆な都市計画の規制緩和とリブランディングを行い、住む場所と働く場所の確保に努めます。

重点項目

- 京都駅前大開発によるオフィス創出
- アジア企業・大手観光企業の本社誘致
- デザイン×研究・IT・製薬など京都で生み出す新産業
- 東西線沿線および京都縦貫周辺の大胆な規制緩和

